

東海防衛だより

2017 / IV



東海防衛支局の取組み等

- ◆平成29年度東海防衛セミナーの開催
 - ◆弾道ミサイル防衛構想
 - ◆平成29年版防衛白書について
 - ◆防衛施設周辺対策事業（豊川市屋外運動場）

東海3県の自衛隊の動き

- ◆防災訓練
 - ◆艦艇の一般公開（名古屋港・四日市港）
 - ◆自衛隊行事と地元との交流
 - ◆鳥インフルエンザに伴う災害派遣

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆パジェロ製造株式会社（岐阜県加茂郡坂祝町）
地本だより *トピックス*

平成29年度東海防衛セミナーの開催

11月15日、東海防衛支局は、愛知県、名古屋市のご後援をいただき、今池ガスホール（名古屋市）において、「日本の安全・安心を考える～弾道ミサイルへの対応～」を主題として、平成29年度東海防衛セミナーを開催しました。



写真：海上自衛隊

イージス艦「みょうこう」



写真：航空自衛隊

PAC-3

セミナーは、倉内支局長の挨拶に始まり、第1部では、防衛省防衛政策局の五味戦略企画課長を講師として「北朝鮮情勢と弾道ミサイル防衛について」をテーマに緊張の続く北朝鮮情勢と防衛省・自衛隊の弾道ミサイルへの対応について、第2部では、内閣官房副長官補付の伊藤内閣参事官を講師として「Jアラートによる弾道ミサイル情報の伝達について」をテーマにJアラートの仕組みと避難の方法について、それぞれ専門的な見地から講演が行われました。

講演には、支局管内の自治体職員を含め多数の方々に来場していただき、関心の高さが伺えました。質疑応答では、「何故、日本の上空を飛んでいく北朝鮮の弾道ミサイルを迎撃しないの」、「北朝鮮のミサイルの弾頭には何を搭載していると想定しているのか」、「Jアラートについて地元地域に来て説明してもらいたい」、「多様な情報伝達方法を検討してもらいたい」など、多数の質問、意見がありました。

「日本の安全・安心を考える～弾道ミサイルへの対応～」



倉内支局長

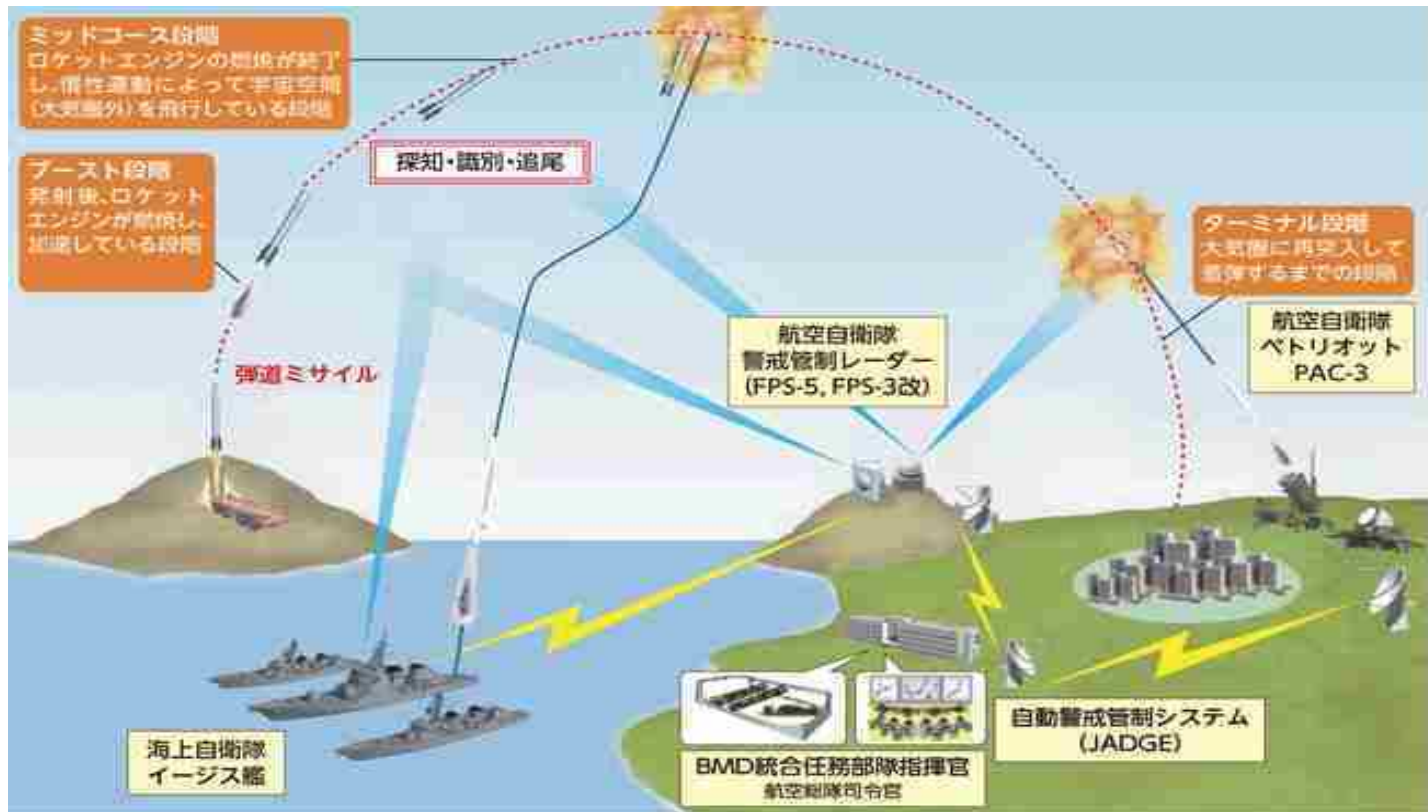
五味課長

伊藤参事官



弾道ミサイル防衛構想

わが国の弾道ミサイル防衛は、イージス艦による上層での迎撃とペトリオットPAC-3による下層での迎撃を、自動警戒管制システムにより連携させて効果的に行う多層防衛を基本としています。



写真：海上自衛隊

SM-3

上層での迎撃は、イージス艦が搭載するSM-3ミサイルで行います。SM-3は、大気圏外を飛行中の弾道ミサイルを迎撃するためのものです。

下層での迎撃では、ペトリオットPAC-3が、SM-3で撃ち漏らした弾道ミサイルを大気圏再突入後の段階において迎撃します。



写真：航空自衛隊

PAC-3

愛知県小牧市にある三菱重工業株式会社名古屋誘導推進システム製作所は、各種のミサイルや航空機用エンジンなどを生産しています。

同製作所では、能力が向上したPAC-3 MSEの生産やSM-3ブロックII Aの日米共同開発に取り組んでいます。



写真：三菱重工業（株）

名古屋誘導推進システム製作所

平成29年版防衛白書について

○ 防衛白書の概要

平成29年版防衛白書が8月8日の閣議で了承されました。防衛白書は、わが国防衛政策への理解の促進を図るために毎年夏頃に刊行されており、前回の刊行から概ね1年間に発生した事象やとりまとめた政策などを中心に記述されています。

平成29年は防衛庁が「省」に移行した10年目の節目であることから、今回の白書では、巻頭特集において、「省移行後の10年間の歩み」を写真を用いて紹介するなど、できるだけ分かりやすく

説明する工夫が凝らされています。また、防衛省・自衛隊を動かす原動力の一つである「人」をクローズアップしたことから、表紙については、「人」をメインテーマとして構成されています。

今回の防衛白書の主な記述内容は、以下のとおりです。

- ① 北朝鮮による核兵器・弾道ミサイル開発等が新たな段階の脅威となっていること。また、自衛隊の弾道ミサイル対処の概要や弾道ミサイル防衛に関する防衛力整備について。
- ② 中国について、力を背景とした現状変更の試みなど、自らの一方的な主張を妥協なく実現しようとする姿勢を継続的に示しており、わが国を含む地域・国際社会の安全保障環境に与える影響について強く懸念されること。
- ③ 本年1月に発足した米国トランプ政権の新たな政策方針や日米首脳会談・日米防衛相会談について。また、沖縄の負担軽減に向けた取組みについて。
- ④ 昨年3月に施行された平和安全法制に基づく自衛隊の活動について。
- ⑤ 防衛力を支える人的基盤の充実・強化、女性隊員の更なる活躍の推進といった人事教育施策について。



○ 防衛白書の説明

当支局と愛知・岐阜・三重各地方協力本部は9月から11月にかけて、愛知県、岐阜県、三重県をはじめ東海3県の地方自治体等を訪問し、首長等に説明を行いました。

各自治体等からは、北朝鮮の核・弾道ミサイル開発や中国の海洋進出に懸念を示す声や災害等への自衛隊の活動に対する感謝や期待の声を頂いています。



大村 愛知県知事



鈴木 三重県知事

防衛施設周辺対策事業

豊川市屋外運動場

東海防衛支局は、陸上自衛隊豊川駐屯地、千両・日吉原演習場に関連する民生安定施設助成事業として、豊川市が実施する屋外運動場（豊川市スポーツ公園）の整備について、平成20年度から28年度までに約4億5千万円の補助金の交付を行いました。

平成23年度には、1期工事として野球場部分が完成し、平成30年度には、2期工事としてサッカー場、ソフトボール場や多目的広場の整備が完了する予定です。

当該施設は、災害時には避難場所となるとともに、地区防災活動拠点として、自衛隊、警察や消防などの救援隊の集結が可能な施設としても利用されます。



利用者の声

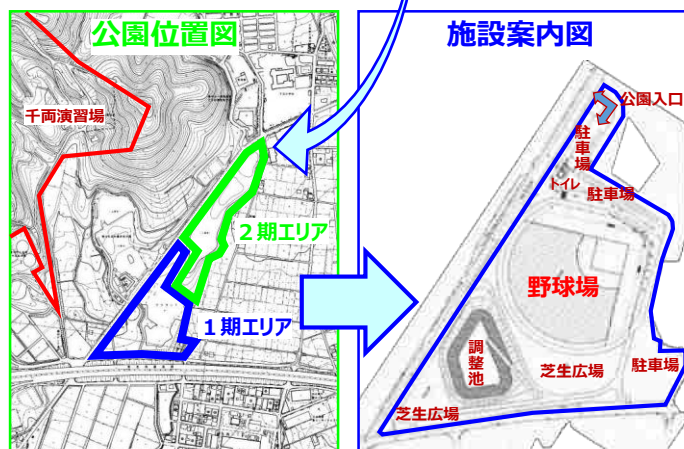
公園が広いので開放感があり、自然の中で、すがすがしい気持ちで利用することができます。

グラウンドの天然芝がきれいで、安心して使用できます。駐車場も十分にあり、その他の施設も整っているので、気持ちよくプレーができます。

少年野球でも、この施設を利用させてもらっています。子供たちの健全な育成のため、スポーツを行う環境が整ったことをうれしく思います。

豊川市担当者の声

豊川市スポーツ公園の野球場は、近年のスポーツ需要の増加による施設不足に応えるために整備を進め、平成23年度に完成しました。オープン以来、多くの方々に利用していただき、また、災害時には地区防災活動拠点としての利用も可能となりましたので、とても感謝しております。引き続き、サッカー場、ソフトボール場の整備を進めていきますのでよろしくお願いいたします。



防災訓練

東海3県の防災訓練に自衛隊が参加し、地方自治体や関係機関と地域住民などが訓練しました。

愛知県防災訓練(8月20日)

愛知県春日井市で総合防災訓練が行われ、陸自守山駐屯地第35普通科連隊、春日井駐屯地第10後方支援連隊、空自小牧基地第1輸送航空隊が参加しました。



人命救助 第35普通科連隊



C-130物資投下 第1輸送航空隊



野外病院 第10後方支援連隊

岐阜県防災訓練(9月3日)

岐阜県高山市で総合防災訓練が行われ、陸自守山駐屯地第35普通科連隊が参加しました。



負傷者の救出 第35普通科連隊

三重県防災訓練(11月5日)

三重県伊賀市、尾鷲市、紀北町で直下型地震と南海トラフ地震を想定した訓練が行われ、陸自久居駐屯地第33普通科連隊、明野駐屯地航空学校、空自笠取山分屯基地第1警戒群、白山分屯基地第14高射隊が参加しました。



物資空輸 航空学校



救助口の確保 第33普通科連隊



給水支援 第1警戒群



野外炊事 第14高射隊

各務原市消防隊員と岐阜基地隊員の共同訓練(9月1日)

空自岐阜基地第2補給処は、災害派遣に係る部隊の対処能力の向上を目的として、各務原市消防本部の指導を受け、岐阜県消防学校にて共同訓練を行いました。



負傷者救出訓練



細いトンネルでの救助者の搬送訓練

艦艇の一般公開

名古屋港 砕氷艦「しらせ」寄港（9月30日、10月1日）

「しらせ」は、南極観測の支援として、昭和基地の修繕資材や食糧物資の輸送を行うための砕氷艦です。全長は138m、基準排水量12,650tです。

本年は、名古屋港開港110周年にあたり、これを記念して寄港した「しらせ」に盛大な歓迎セレモニーが行われました。



名古屋港入港歓迎セレモニー



砕氷艦「しらせ」

四日市港 護衛艦「いせ」寄港（10月14日、15日）

「いせ」は、対潜水艦攻撃ヘリを3機、掃海・輸送ヘリを1機搭載している護衛艦です。全長は197m、基準排水量約13,950tです。

見学者は、同艦の巨大さやヘリコプター用昇降機の迫力に圧倒されていました。



ヘリコプター用 昇降機



護衛艦「いせ」

東海3県における自衛隊の行事と地元との交流

自衛隊では、地域の皆様との交流を深めるため、駐屯地や基地を開放し、創立、開設記念行事や航空祭を開催しています。

陸自 第10師団創立55周年記念行事(10月28日)

守山駐屯地では、第10師団の創立55周年記念行事が開催され、観閲式、訓練展示、装備品展示、ふれあいコンサートなどが行われました。大勢集まった来場者は、統率のとれた観閲行進に魅了され、また、訓練展示の迫力、特に榴弾砲や戦車砲の空包射撃の轟音に圧倒された様子でした。

時折、小雨が混じるあいにくの天気でしたが、全てのプログラムが無事行われました。



観閲行進



74式戦車の空包射撃

陸自 明野駐屯地開設62周年航空学校創立65周年航空祭(11月4日)

明野駐屯地では航空祭が開催され、2万人を超える来場者がありました。災害を想定した行動展示、上空1200メートルからの空挺降下、ヘリコプターによる編隊飛行など、航空祭ならではのプログラムでした。



災害を想定した行動展示



空挺降下



明野レインボーの編隊飛行

陸自 豊川駐屯地創立67周年記念行事(10月21日)

豊川駐屯地では、創立67周年記念行事が開催され、観閲行進、訓練展示、装備品展示などが行われました。台風21号が接近するあいにくの天気の中、来場者の期待に応えるべく、全てのプログラムが無事行われました。



雨天の中の観閲式



戦車試乗

空自 2017岐阜基地航空祭(11月19日)

飛行場開設100周年及び基地開設60周年となる本年の航空祭には、13万人の来場者がありました。今回の航空祭では、4年ぶりのブルーインパルスの展示飛行も行われ、素晴らしい曲技飛行の数々に満場の拍手が沸き起こりました。

また、前日の18日には、岐阜基地が日頃からお世話になっている関係者の方々にご参加をいただき、岐阜基地開設60周年記念行事が開催され、記念祝賀会などが行われました。



ブルーインパルスの飛行



X-2の展示



各務原飛行場100周年を祝うF-4ファントム



KC-767の給油展示



鳥インフルエンザに伴う災害派遣



第35普通科連隊長に対する出発報告



守山駐屯地を出発する災害派遣部隊



屋外での感染拡大防止作業

岐阜県山^{やまがた}県市で発生した高病原性鳥インフルエンザに対する防疫処置のため、第10師団は、1月14日から16日までの間、第35普通科連隊等延べ約660名を派遣し、感染鳥約5万5千羽の処分、ウイルス付着の可能性のある鶏卵などの処理を行い、感染拡大の防止に努めました。

9月28日、第10師団は、こうした功績により、農林水産大臣から感謝状を贈呈されました。



鶏舎内での感染鳥の処理作業



東海農政局 消費・安全部
吉田部長

第10師団司令部
幕僚長 古屋1等陸佐

農林水産大臣感謝状の伝達
(第10師団司令部庁舎内)

東海3県の防衛産業・技術基盤

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品を調達するにあたり、製造工程での審査や、最終的な完成検査を行っています。そこで、このコーナーでは、我が国の防衛力の基盤となる製造企業の技術力を紹介します。

【パジェロ製造株式会社】（岐阜県加茂郡坂祝町）
～ 熟練の技で自衛隊の活動を支える ～

パジェロ製造株式会社は、急流と美しい岩肌が特徴の木曾川が流れる岐阜県加茂郡坂祝町^{さかほぎ}に位置しています。1943年、航空機部品製造を目的に東洋航機株式会社として発足し、戦後自動車車体製造に目的を変更して、1967年から三菱ジープを、1982年には世界一過酷と言われる砂漠のラリー競技「パリ・ダカールラリー」の活躍で有名なパジェロの一貫生産を開始しました。1995年には社名を現在のパジェロ製造に変更し、自衛隊向け1/2tトラックや三菱自動車の市販オフロード4WD車パジェロなどを製造しています。

1 タフさや信頼性を持った心強い相棒

1/2tトラックは、三菱ジープをベースとした73式小型トラックの後継車両として1996年に採用されました。通常の高速走行が可能なおうえに、山間地での登坂、災害派遣現場などのがれきが散在した場所や泥濘地、浸水したところなど、苛酷な環境でも活躍しています。その源は、力強いエンジン、堅牢なラダーフレーム構造、走行安定性を追求したサスペンションの他、市販車よりも高い最低地上高、グリップ力が強いタイヤ、さらには必要なときに2輪駆動から4輪駆動に切り替えられるパートタイム4輪駆動方式などの機能にあります。このため国内での訓練の他、災害派遣、PKO等の現場に常に派遣され、自衛官から信頼される車両であり、心強い相棒となっています。

2 1/2tトラックを製造する熟練の技

頑丈で高い耐久性が要求される1/2tトラックは、車体ボディの剛性を高めるため、市販車に比べて、車体の溶接箇所を増加させています。通常、溶接箇所を増加させることは車体を変形させる熱歪み等の原因となり、市販車ではあまり行われません。このため高い技能と多くの経験を持った熟練作業者が一台一台手作業で溶接を行い、これを解決しています。パジェロ製造は、三菱ジープ、73式小型トラックの時代から1/2tトラックに至るまで、70年以上の歴史と熟練の技を脈々と受け継いできました。

これからも技術を積み重ね、さらに自衛隊の活動を支え続けてくれるはずです。



パジェロ製造株式会社



73式小型トラック



1/2tトラック

地本だより

自衛隊地方協力本部（地本）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

愛知地方協力本部

(電話)052-331-6266

<http://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



●自衛隊広報ルームのお知らせ！



住所：名古屋市中村区椿町21-2第3太閤ビル1F
時間：午前10時～午後1時15分 午後2時～6時
休館日：不定休
入場料：無料



岐阜地方協力本部

(電話)058-232-3127

<http://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



●フェイスブック開設のお知らせ！

フォロー&いいね!!お待ちしております)

f 岐阜地本 公式 Facebook



三重地方協力本部

(電話)059-225-0531

<http://www.mod.go.jp/pco/mie/>



●「自衛隊の職場体験、出前講座」のお知らせ！

三重県内の小・中学、高校等で実施されている「総合的な学習の時間」のひとつである職場体験や学校への出張による防災講話等の支援を行っています。

※詳しい情報は、各自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。

平成29年度 自衛官等募集の日程

募集種目	資格	受付期間(締切日必着)	試験期日	合格発表
自衛官候補生 (男子・女子)	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて受付	受付時にお知らせします。	合格発表日は試験日にお知らせします。
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒(一般)	中学校卒業(見込含) 17歳未満の男子	11月1日～30年1月9日	1次 30年1月20日 2次 30年2月1日～4日(内1日)	1次 30年1月26日 最終 30年2月16日
貸費学生 (技術)	大学の理学部、工学部(*)の 3・4年次又は大学院(専門職 大学院を除く)修士課程在学 (正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満)) * 理学部、工学部に類する学部も該当する場合があります。	11月1日～30年1月9日	30年1月27日	30年4月27日

※詳しい情報は、防衛省及び各自衛隊地方協力本部のホームページをご覧ください。

トピックス ～こんな所でも自衛隊が活躍！～

10月22日の第48回衆議院議員総選挙では、台風21号の影響により、愛知県西尾市佐久島の投票箱が回収できなくなりました。

このため、愛知県から派遣要請を受け、第10師団のヘリコプター※が、現地から投票箱を輸送しました。



ヘリコプターへ投票箱を運ぶ市職員



ヘリコプターに投票箱と搭乗する市職員

開票は、23日夜に行われ、全国で最後の当選者の発表となりました。

※ 第10師団第10飛行隊(陸自明野駐屯地)所属の多用途ヘリコプターUH-1J

